

▼ 会計別総括表

	令和8年度 当初予算		前年度比
	通常分	149億7,201万円	
一般会計	震災関係	43億9,799万円	107.7%
	計 (国補正予算分含む)	193億7,000万円 (200億1,934万円)	18.8% (1.9%)
	特別会計	58億1,650万円	▲ 1.1%
企業会計	通常分	40億0,305万円	14.4%
	震災関係	16億5,455万円	▲ 21.7%
	計 (国補正予算分含む)	56億5,760万円 (56億9,360万円)	0.8% (0.7%)
合計	通常分	247億9,156万円	5.2%
	震災関係	60億5,254万円	43.0%
	計 (国補正予算分含む)	308億4,410万円 (315億2,944万円)	11.0% (1.1%)

※ () は、令和7年度補正予算を含む。

『今に希望を持ち、
次世代へつなぐ』



新規 … 新規事業 **12月** … 12月補正含む
拡充 … 前年度から拡充 **3月** … 3月補正含む

▼ 輝くはくい2.0実現の5つのビジョン ※主要事業を掲載

未来に
つながる復興

Vision 1

- 新規** 宅地液化化防止事業 (地域整備課) 5億1,800万円
再度の災害防止に向けて宅地と公共施設の一体的な液化化対策を行い、安全安心な住環境を整備する。
- 新規** 地域防災緊急整備ほか (生活安全課) 1億976万円
3月 災害時でも安定した通信が行える高精度の通信機器、防災倉庫、防災行政無線整備のための設計を実施。
- 新規** 粟ノ保公民館新築構想 (生涯学習課) 200万円
粟ノ保公民館について、今後の建替えに向けた基本構想の策定を行う。

- 新規** 応急給水設備施設整備 (生活安全課) 8,300万円
南部配水場に、応急給水基地として給水設備施設を整備。災害時に安定した水の供給体制を確保する。
- 復興公営住宅の整備 (地域整備課) 22億577万円
鶴多町地内に復興公営住宅の整備を行う。
R8年10月入居開始予定。
- 未来につなげる羽咋なりわい再建支援 (商工観光課) 2,300万円
震災により被災した事業者のなりわい再建を支援するため、国県の補助制度に市独自で上乗せ支援を行う。

強い経済と
安心な羽咋

Vision 2

- 新規** 道の駅のと千里浜の拡張 (商工観光課) 2億9,490万円
道の駅のと千里浜の更なる賑わいと交流人口拡大のため、売り場エリアの増設および水産物加工エリアを新設する。
- 新規** 移住定住の推進 (まちづくり課ほか) 4,918万円
兵庫ヒルズの販売促進に取り組みとともに、移住体験やインターンツアーを実施し定住促進を図る。
- 新規** チャレンジショップの整備 (商工観光課) 1,000万円
本起業に向けてのトライアルとなるチャレンジショップを駅周辺に整備し、能登の復興やにぎわい創出を図る。

- 拡充** 物価高騰・経済支援事業 (商工観光課ほか) 3億6,820万円
12月 市民生活と事業者を守るため、物価高騰対策を実施する。
(商品券の給付、プレミアム商品券の販売、水道基本料金無償)
- 拡充** カーボンニュートラルの推進 (生活安全課) 1億5,969万円
3月 カーボンニュートラルを推進するため、公共施設の照明のLED化や市内の小水力発電可能性調査を実施する。
- 拡充** 観光推進事業 (商工観光課) 1,930万円
観光振興と地場産業活性化を一体的に推進する。
(宿泊ツアーへの助成、合宿誘致助成、観光PR情報発信など)

スポーツ・文化を
通じた潤い活力
あるまちづくり

Vision 3

- 新規** トキが舞う里魅力発信 (トキ共生室) 5,343万円
R8年5月31日に行われる本州初のトキ放鳥を契機とし、トキが息する里山の魅力発信や地域産品のブランド化を図る。
- 新規** 羽咋体育館空調整備 (スポーツ推進室) 1億5,700万円
羽咋体育館に冷暖房設備を整備し、スポーツ環境の向上と、避難所機能の強化を図る。
- 拡充** 攻めの予防医療 (地域包括ケア推進室ほか) 1,243万円
介護・フレイル予防の推進により、生涯活躍できる健康づくりを支援する。

- 拡充** 駅周辺にぎわい創出 (商工観光課) 1,463万円
eスポーツ大会の開催やeスポーツスタジオを活用したイベントの開催に対して補助を行うほか、eスポーツクラブチームの運営支援を行う。
- 拡充** SSTR開催支援 (商工観光課ほか) 1,561万円
全国から千里浜なぎさドライブウェイを目指すモータースポーツイベントSSTRの開催を支援する。
- 拡充** 地域クラブ支援 (学校教育課) 386万円
中学校部活動の地域展開を進め、地域クラブへの支援を通じて安定的な活動体制の構築を図る。

全世代活躍の
まちづくり

Vision 4

- 新規** 介護サービス供給体制確保の推進 (地域包括ケア推進室) 400万円
介護サービスを担う人材確保と定着のため、研修受講費用の助成や、有資格者を新規雇用した事業所に対し奨励金を支給する。
- 拡充** 羽羽ポイント事業 (地域包括ケア推進室) 243万円
現在65歳以上を対象とした羽羽ポイントについて、対象年齢を40歳以上に拡充し、運動習慣の定着・地域交流を図る。
- 拡充** テレワークの推進 (まちづくり課) 300万円
既存支援事業について、近隣市町との共同事業実施を行い、地域人材におけるテレワーカーの拡大、地域企業からの受注拡大を図る。

- 拡充** 学校のICT環境支援 (学校教育課) 7,250万円
ICT環境の整備を推進し、デジタル教育の充実を図る。
(PCの更新、体力テストアプリの導入、デジタル新聞など)
- 拡充** 輝く健康ライフ応援 (地域包括ケア推進室) 257万円
長寿高齢者の慶寿を祝い福祉の増進を図るため、100歳を対象に特別敬老祝、88歳を対象に米寿祝を配布する。
- 拡充** 集落支援員配置 (生涯学習課ほか) 920万円
集落支援員を配置し、市と地域団体・住民との連携を取ることで、地域振興に向けた取組を促進する。[令和8年度より追加配置]

誰もが暮らし
続けられる
羽咋

Vision 5

- 新規** 公園施設の整備 (地域整備課) 4億4,660万円
3月 中央公園について、邑知小学校の総合的学習授業における提案も踏まえて再整備するとともに、羽咋運動公園等の改修を行う。
- 拡充** 地域公共交通 (企画財政課) 1億1,817万円
市内公共交通の利便性向上のため、令和8年度は外出支援活動への支援拡充を行うほか、バス待ち環境改善のための上屋設置を行う。
- 拡充** 医療・保育・給食の無償化 (こども課ほか) 2億1,244万円
子ども医療費や保育料、給食費について無償とし、子育て世代の支援を行う。

- 拡充** 緊急情報受信サポート (健康福祉課) 142万円
目で聴くテレビを老人福祉センター及び羽咋公民館に設置するほか、緊急通報装置の設置を行う。
- 拡充** 予防接種事業 (健康福祉課ほか) 1億4,578万円
定期接種対象者に対し、各種の予防接種を行うとともに、感染による健康上のハイリスク者に対し予防接種費用を助成する。
- 拡充** 子育てサロン (こども課) 1,141万円
休日保育の場であるすこやか一むを活用し、子育てサロンを新規に開設する。また、子育てサークル活動の場として貸し出しも行う。